

## 地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価総括表

令和6年2月28日  
北海道運輸局

評価対象事業名: 令和5年度 地域交通キャッシュレス決済導入支援事業

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		③事業実施の適切性	④目標・効果の達成状況	⑤事業の今後の改善点	評価結果		
北海道バス株式会社	<p>(事業の実施内容) 2023年3月に開業した北海道日本ハムファイターズの新球場「北海道ボールパーク」とJR北広島駅・新札幌駅・野幌駅・新千歳空港を結ぶシャトルバス車内における運賃收受のため、交通系IC決済のための端末50台を導入し、運用を開始した。 (結果の概要) 運賃收受のスピードが大幅に改善し、公共交通で訪れる旅客の利便性向上に寄与した。</p>	A	<p>計画どおりのスケジュールで導入が完了し、シーズン途中ではあったが、当初課題であった乗降時の運賃收受にかかる時間が大幅に短縮され、シャトルバスの回転を上げることで、旅客の待ち時間の短縮につながった。</p>	A	<p>(目標) 交通系IC決済比率を50%以上とする。 (令和5年8月平均) 交通系ICの利用率は54%となり、目標を達成した。</p>	<p>キャッシュレス決済の周知を図ることで、キャッシュレス比率を上げ、決済にかかるスピードを上げていきたいと考えている。 さらに、利便性向上(特に待ち時間)のために乗降方法を改善したいと考えている。</p>	<p>・自己評価のとおり、事業は適切に実施された。 ・引き続き周知を図ることで、さらなる利便性向上につながることを期待する。</p>